３．退職給付に係る引当金及び見積額の計上基準
　退職一時金は、運営費交付金により財源措置がなされるため、退職給付に係る引当金は計上しておりません。
　また、厚生年金基金から支給される年金給付については、運営費交付金により厚生年金基金への掛金及び年金基金積立不足額に関して財源措置がなされるため、退職給付に係る引当金は計上しておりません。
　なお、行政サービス実施コスト計算書における引当外退職給付増加見積額は、独立行政法人会計基準第38に基づき計算された退職一時金及び年金給付に係る退職給付引当金の当期増加額を計上しております。数理計算上の差異については、その発生時の職員等の平均残存勤務期間以内の一定の年数（５年）による定額法により翌期から費用処理しております。
４．賞与に係る引当金及び見積額の計上基準
　賞与については、運営費交付金により財源措置がなされるため、賞与に係る引当金は計上しておりません。
　なお、行政サービス実施コスト計算書における引当外賞与見積額は、独立行政法人会計基準第88に基づき計算された賞与引当金の当期増加額を計上しております。
５．たな卸資産の評価基準及び評価方法
⑴　未成受託業務支出金
　個別法による低価法を採用しております。
⑵　貯蔵品
　個別法による低価法を採用しております。
６．外貨建資産及び負債の本邦通貨への換算基準
　外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。
７．行政サービス実施コスト計算書における機会費用の計上方法
⑴　国又は地方公共団体財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用の計算方法
　①　近隣の地代や賃貸料等を参考に計算しております。
　②　無償貸付をうけている研究開発用資産に対し減価償却を行ったと仮定した場合の22年度減価償却相当額を計上しております。
⑵　政府出資又は地方公共団体出資等の機会費用の計算に使用した利率
　10年利付国債の平成23年3月末利回りを参考に1.255%で計算しております。
８．リース取引の処理方法
　リース料総額が３百万円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
　リース料総額が３百万円未満のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
９．消費税等の会計処理
　消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

Ⅱ．重要な会計方針の変更
１．資産除去債務に関する会計基準
　当事業年度より、改訂後の「独立行政法人会計基準」及び「独立行政法人会計基準注解」を適用しております。
　これにより、経常損失及び税引前当期純損失に与える影響はありませんが、損益外減価償却累計額が17,298,312円、損益外利息費用累計額が2,627,501円増加しており、行政サービス実施コスト計算書において損益外減価償却相当額17,298,312円、損益外利息費用相当額が2,627,501円増加しております。
　また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は26,411,166円であります。
　なお、セグメントに与える影響は当該個所に記載しております。

Ⅲ．重要な債務負担行為
　重要な債務負担行為は173,918,708,986円であります。
Ⅳ．重要な後発事象
　該当事項はありません。
Ⅴ．貸借対照表関係
１．運営費交付金で財源措置されるべき退職給付の見積額は28,701,409,511円であります。
２．運営費交付金で財源措置されるべき賞与引当金の見積額は1,304,203,378円であります。
３．当期に減損を認識した固定資産は以下のとおりであります。
⑴　角田宇宙センターの建物の一部
　①　固定資産の概要
　　用途　供給系燃焼試験等設備
　　種類　建物
　　場所　宮城県角田市君萱字小金沢１
　　減損前の帳簿価格（平成22年度期首）　403,755,462円
　②　減損の認識に至った経緯
　　上記資産については、供給系燃焼試験等設備として11建屋をＪＡＸＡ設立に際し承継しましたが、承継時に比べて平成22年度期中における利用率が著しく低下しており、利用率の回復は見込まれないことから、減損を認識しました。
　③　減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳
　　損益計算書に計上した減損額：０円
　　損益計算書に計上しない減損額：7,118,330円（うち、損益外減損損失累計額で計上したもの7,024,053円、資産見返運営費交付金で計上したもの64,577円、資産見返補助金で計上したもの29,700円）
　④　算定方法等の概要
　　減損額は、正味売却価額により算定しており、正味売却価額は、不動産鑑定業者が作成したデフレータに基づいて算定しております。
⑵　角田宿舎の土地の一部
　①　固定資産の概要
　　用途　職員用宿舎用地
　　種類　土地
　　場所　宮城県角田市角田字稔町１番６
　　減損前の帳簿価格（平成22年度期首）　51,527,793円
　②　減損の認識に至った経緯
　　上記資産については、職員用宿舎用地としてＪＡＸＡ設立に際し承継しましたが、平成22年度期中において使用しないこととしたため、減損を認識しました。
　③　減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳
　　損益計算書に計上した減損額：０円
　　損益計算書に計上しない減損額：7,927,145円（損益外減損損失累計額で計上）
　④　算定方法等の概要
　　減損額は正味売却価額により算定しており、正味売却価額は、相続税路線価に基づいて算定しております。
⑶　地球観測センターの建屋の一部
　①　固定資産の概要
　　用途　車庫
　　種類　建物
　　場所　埼玉県比企郡鳩山町大字大橋字沼ノ上1401
　　減損前の帳簿価格（平成22年度期首）　4,782,399円